



KOMORO

MI・RA・I

チャレンジャー☆

感謝
の気持ち

「こもろみらいチャレンジャー」は、市内の高校に通う学生の頑張る姿に注目し紹介していきます。

企画課 情報戦略推進係

No.3

小諸商業高校 「鈴木君」のチャレンジ

現在、全国高校サッカー選手権の長野県大会に向けて、猛練習に励む鈴木君。サッカーを始めたのは小学校2年生のころ。5つ上の兄のサッカーをしている姿がかっこよく、自分もサッカーがしたいと思い、始めたという。兄とは仲が良く、数年前までは近くの公園で兄と毎日のようにサッカーをしていた。テレビなどでよく取り上げられるプロの試合を鈴木君はあまり見ない。なぜなら、自分に合うプレイスタイル

で上手になりたいからだと話す。自分よりサッカーが上手な兄から毎日学び、常に自分のプレイスタイルの参考に使っていた。足元の技術なら誰にも負けない自信もついた。サッカーを通じて、大切なことも学んだ。それは、「感謝の気持ち」。小さい頃から始めたサッカーも、当時は何も考えず、ただ漠然とボールを蹴っていた。高校生になって今感じるものは「親や先生たちの支えがあったて、大好きなサッカー

ができているんだ」ということ。サッカーの技術が伸びるのと同時に、サッカーを通じて自分の成長につながっていると嬉しそうに鈴木君は話す。高校生最後の大会が間近に迫っているなか、これまで支えてきてくれた親や先生たちに恩返ししたい。そのためには、良い成績が残せるように頑張りたいと意気込む。目標は「優勝」。

鈴木君のポジションはMF（ミッドフィールダー）で、試合中では司令塔の役割を果たす。そして、チームのキャプテンでもある鈴木君は、試合の外でチームをまとめる。今一番大事なのはチームを一つにまとめること。真剣に話す鈴木君の視線は、常にチームメイトに向けられていた。

取材協力

鈴木 聖也さん

（高校3年生）

ポジション MF

足元の技術に自信がある。

